橋本 貴子 准教授
博士(文学)
Takako Hashimoto
✉ takako.hashimoto@komatsu-u.ac.jp

研究 Keyword　中国語音韻史、中古音、対音資料、音韻変化、音声変化

プロフィール
2009年　神戸市外国語大学 外国語学研究科 博士課程・文化交流専攻　単位取得満期退学
2012年　博士(文学・神戸市外国語大学)
2019年　神戸市外国語大学　外国学研究所　客員研究員
2022年　公立小松大学　国際文化交流学部 国際文化交流学科　准教授
研究分野
中国語学
所属学協会
日本中国語学会

専門分野・研究分野

中国語音韻史の研究

中国語の発音の歴史を研究しています。歴史的文献や中国周辺地域に伝わる漢字音、中国語の方言音等を参考に昔の発音を推定し、さらに古今の発音の変遷を明らかにすることに取り組んでいます。

研究内容

対音資料を用いて後漢～唐代に起きた音韻変化・音声変化を解明する

私の研究の特徴は対音資料を重視する点にあります。対音資料とは、外国語の発音を漢字で音訳したものや、中国語の発音を外国語の文字で表記した資料のことです。資料成立時の発音を直接かつ比較的忠実に反映しており、昔の発音を推定する際の重要な手掛かりとなります。

これまでは対音資料を利用して、唐代(618～907年)の発音を研究してきました。唐代の中国北方では数々の音声・音韻変化が起きたと言われています。それらの変化が本当に起きたのかを検証し、起きたと言えるのであれば、唐代のどの時期に、どこで、どのように起きたのかを解明したいと思いました。そこで唐代の漢訳仏典の音訳漢字を主な資料とし、更に複数の種類の対音資料を用いて研究を行い、幾つかの音声・音韻変化について新たな知見を提示することができました。

今後は唐代以前、すなわち後漢～南北朝期の音韻史についても、引き続き漢訳仏典の音訳漢字を活用して解明していきたいと思います。この方面での研究に進展が見られれば、この時期の中国およびその周辺地域で成立した漢字資料の音声的側面がより詳しく分かるようになり、それによって東洋史学や仏教学をはじめとする関係諸分野の文献学的研究にも寄与することができると考えます。

上海龍華寺の仏堂内。経幢に漢字音訳された陀羅尼(サンスクリット語の呪文)が書かれている。

シーズ・地域連携テーマ例
- 上古音～中古音の変遷
- 漢訳仏典の音訳漢字
- 悉曇資料

論文
- Some Features of Siddham Script in the University of Tokyo Manuscript of the Chinese Version of the *Ārya-mahā-māyūrī Vidyā-rājñī*, *Śāntamatiḥ Manuscripts for Life — Essays in Memory of Seishi KARASHIMA*, 139-154, 2023.
- 義浄の音訳漢字におけるSanskritの/v/の音訳について，岩田礼教授栄休紀念論文集（上冊），109-133，2022
- 対音資料から見た唐代の軽唇音化について：附論 日母の脱鼻音化，神戸外大論叢73（3），121-146，2021
- 対音資料から見た初唐期の匣母の音価について―義浄の音訳漢字を中心に―，開篇37，67-80，2019
- 悉曇文字の字形から見た『悉曇字記』の問題点―語頭の長 ī，cha，ḍhaを表す文字の字形を中心に―，東洋学報100（3），1-23，2018
- 梵漢対音研究概観，中文学術前沿12，112-119，2018
- Siddham Script in the University of Tokyo Manuscript of the Chinese Version of *Ārya-Mahā-Māyūrī Vidyā-Rājñī*，創価大学国際仏教学高等研究所年報18，263-273，2015
- 不空訳『仏母大孔雀明王経』本文中の音訳語彙 ―義浄訳『仏説大孔雀呪王経』との比較から―，太田斎・古屋昭弘両教授還暦記念中国語学論集，123-132，2013
- 陀羅尼の音写字から見た次濁鼻音の非鼻音化について，中国語学（254），124-142，2007
- トゥルファン出土の難字音注断片に反映されるウイグル漢字音について：ベルリン所蔵の二断片Ch/U6781とCh2369の分析，神戸市外国語大学外国学研究 58，17-44，2004

書籍等出版物
- 地図17 蝸牛，岩田礼（編）『漢語方言解釈地図』，122-129，白帝社，2009

講演・口頭発表等
- 対音資料から見た初唐期の微母と日母，第69回日本中国語学会全国大会，お茶の水女子大学，2019年
- 対音資料から見た初唐期の匣母の音価について，第68回日本中国語学会全国大会，神戸市外国語大学，2018年
- 梵漢、粟特、摩尼教對音研究概觀，中古近代漢語工作坊，浙大漢語史研究中心，2016年

競争的資金等の研究課題
- 科学研究費助成事業（研究活動スタート支援），「対音資料による唐代音韻史の研究―初唐期を中心に」，研究代表者，2019-2021年度